

## 令和6年度(2024年度) 広報・広聴活動の基本方針

DXの進展、自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の進展、世界的な物価高騰、急速に進行する少子化を踏まえた業務遂行を念頭に、令和6年度(2024年度)「事業計画」に従い、①公共調達に関わる情報提供、②建設プロセスに関わる情報の利活用促進、③建設情報に関わる研究開発を行うことにより、i-Constructionやインフラ分野のDX推進などの諸施策を支援し、公共工事の品質確保、建設業の健全な発達、資源の有効利用、建設生産性の向上及び安全・安心な社会の構築に引き続き寄与する。

そのため、事業計画、品質確保及び広報・広聴活動について目標等を設定する。

広報・広聴活動については、JACICの活動方針や内容を発信するとともに、情報発信後の把握に努める。併せて、建設事業に携わる顧客との双方向のコミュニケーションを継続的に深化させる活動が重要となる。

以上のことから、令和6年度(2024年度)の広報・広聴活動は以下の点を基本方針とする。

- ① 広報・広聴活動の意義は、顧客等との良好な関係を構築するためであることを意識する。
- ② 広報・広聴活動の対象は、顧客となる建設事業の発注者・受注者のみならず、一般国民を含める。
- ③ 広報・広聴活動の効率を高めるため、各部の各事業の目的（公共工事の品質確保、建設業の健全な発達、資源の有効利用及び建設生産性の向上）及び社会貢献の意義を意識する。
- ④ 事業計画、品質確保、広報・広聴活動のマネジメントを一本化して実施する。

## 令和5年度(2023年度) 広報活動の基本方針

DXの進展、生産年齢人口の減少、原材料価格の高騰、コロナ禍からの社会経済活動の正常化の進展を踏まえた業務遂行を念頭に、令和5年度(2023年度)「事業計画」に従い、①公共調達に関わる情報提供、②建設プロセスに関わる情報の利活用促進、③建設情報に関わる研究開発を行うことにより、i-Constructionやインフラ分野のDX推進などの諸施策を支援し、公共工事の品質確保、建設業の健全な発達、資源の有効利用及び建設生産性の向上に引き続き寄与する。

そのため、事業計画、品質確保及び広報活動について目標等を設定する。

広報活動については、JACICの活動方針や内容を発信するとともに、情報発信後の把握に努める。併せて、建設事業に携わる顧客との双方向のコミュニケーションを継続的に深化させる、広義の広報活動が重要となる。

以上のことから、令和5年度(2023年度)の広報活動は以下の点を基本方針とする。

- ⑤ 広報活動の意義は、顧客等との良好な関係を構築するためであることを意識する。
- ⑥ 広報活動の対象は、顧客となる建設事業の発注者・受注者のみならず、一般国民を含める。
- ⑦ 広報活動の効率を高めるため、各部の各事業の目的（公共工事の品質確保、建設業の健全な発達、資源の有効利用及び建設生産性の向上）を意識する。
- ⑧ 事業計画、品質確保、広報活動のマネジメントを一本化して実施する。